

第13回友の会ウィークを開催

18のイベントに500名余りが来場

第13回 友の会ウィーク

図書館からひろがる！ひろげる！

2023年
期間 11月4日(土)~11月23日(木・祝)

場所 葛飾区立中央図書館



11/5(日) 特別講演会とシンポジウム
午後2時~ 「これからの地域社会に求められる図書館」
講師：大串 夏身さん (昭和女子大学名誉教授)

主催：葛飾図書館友の会
https://www.kaisotomo.jp/mo/ 協力：葛飾区立中央図書館
〒125-8582 中央図書館平楽棟3階(友の会担当) 電話：03-3607-9201

コロナ禍を経て昨年度、3年ぶりに再開した『葛飾図書館友の会ウィーク』を、今年度も11月4日(土)から23日(木・祝)の期間、中央図書館の大小2つの会議室と「おはなしのへや」を会場にして開催しました。今回で第13回を迎え、「図書館からひろがる！ひろげる！」をテーマに、友の会の各委員会・クラブと図書館登録の6団体が参加してイベントを開催し、活動の成果を発表しました。のべ18のイベントに512名(うち、子ども74名)の来場者がありました。

友の会主催のイベントとしては、中央図書館との共催による特別講演会&シンポジウム『私たちとともにある図書館を考えよう』(講師：昭和女子大学名誉教授大串夏身氏)、おはなしくらぶの「おはなし会」「わらべうたであそぼう」、ナイトシアタークラブによる『カミーユ・クローデル』の上映、広報委員会の「キーワード読書会」(キーワードは『いのち』)、読書クラブによる読書会(ディケンズ『クリスマス・キャロル』)を開催しました。

図書館登録の6団体は、かつしかシニア絵本の会「いろんな絵本を見て聞いてみよう」、飛行船「えほん・おはなし・かみしばい」、10(テン)の会「覚えなくていいよ、昔話を語りましょう! 初心者限定」「語りマラソン つなげよう語りの

輪」、昔語りの会「昔語りの会 修了お話し会」、おはなしたまごの会「語りで楽しむひととき」、ザ・シルク「マジックショー」の各イベントを開催しました。

また、友の会ウィークの期間中、「葛飾図書館友の会展」を中央図書館の展示コーナーで開催しました。友の会、および各委員会・クラブを紹介するパネルの掲示、ナイトシアタークラブやCD・DVDコンサートクラブがこれまでに開催したイベントのカラーポスターやプログラムの掲示・展示、恒例となった、おはなしくらぶによる美しい手作りの作品の展示、図書館登録団体のイベント開催ポスターなどにぎやかなコーナーとなりました。

さらに、9月末から1ヶ月間募集した「葛飾図書館友の会川柳大会」には多くの応募があり、その全作品を展示コーナーに掲示しました。(イベントクラブ 北野)



第17回総会は4月27日(土)に開催

新年度の活動方針や課題など討議、役員改選も議題に

2008年(平成20年)6月に発足した葛飾図書館友の会も、今年4月で第17回目の総会を開催します。最近の数年間是一般会員及び賛助会員を含めて約60名前後の皆さんの活動と協力により「友の会ウィーク」や「新春かるた会」などの定期的な実施、そして昨年からは「子ども映画会」も始まりました。

ただ、四半世紀を過ぎると、会員の高齢化や内容の変化など、これまで通りの活動が継続できるかどうかなど、解決すべき課題も増えて来ています。これらの課題を乗り越えるためにも新たな視点で友の会活動を進める時期に入ったことも事実です。知恵を出し合っ

て意味のある友の会活動を進めていきましょう。第17回総会は上記の通りの内容で開催します。今回の総会は任期2年の役員の改選も行いますので、立候補される会員の方は総会前までに総務にお申し出ください。皆様の出席と、友の会活動に興味のある方の見学や傍聴をお願いします。総会開催にあたり、会員の方々には4月中旬までに総会議案書と委任状を兼ねた総会出欠ハガキなどを郵送しますので、締め切り日までにハガキの投函をお願いします。

第17回葛飾図書館友の会総会 開催のお知らせ

日時：2024年4月27日(土) 午後2時より
会場：葛飾区立中央図書館 会議室1
議題：(1) 2023年度活動報告
(2) 2023年度収支報告
(3) 2023年度会計監査報告
(4) 役員改選
(5) 2024年度活動方針(案)
(6) 2024年度予算(案)

暮らしは図書館でゆたかになる



11月5日(日)に開催の講演会は第1部として昭和女子大学名誉教授の大串夏身氏による講演で始まり、第2部ではパネラー4人のトークおよび来場者との質疑応答も交えたディスカッション(シンポジウム)が行われました。図書館関係の著書も多数の大串氏ですが、いきなり旧陸軍が撮影した金町付近の空中写真の投影で???)と思わせるなど「つかみ」も十分。続いて演題の知的なテーマが肩肘張らない軽やかな口調で展開されました。

日本では図書館とは一般に「本を貸し出す」「静かにしなければいけない」場所として認識されてきているが、それだけでは本と情報を活用した効果が人や社会に十分にもたらされていない。人が図書館に集い、本や情報についての語り合いから新しい活動や

文化を地域に広げるなど、多くの可能性を幾多の図書館や海外の例で話され、「暮らしは図書館でゆたかになる」未来をスリリングに見せていただきました。

シンポジウム「葛飾の図書館を育てるために」

第2部は大串氏の進行で、図書館総合研究所の廣木恭平氏、学校図書館コーディネーターの上野川(かみのかわ)三千代氏、中央図書館から打越係長、友の会の鶴岡会長の4人によるシンポジウムがスタート。各地のユニークな図書館や新しい活動、現在の取り組みなどの報告と、今後への構想として「住民の活動の場を入り口に置く」提案や図書館の役割として、「住民の消極的要求を引き出す」「住民の力を借りてサービスを充実させる」展望も語られました。

来場者からは、「(先生のお話は)軽快なお話でとてもききやすく、たのしく伺いました」「これからの図書館に求められる知識を得られてよかった」「シンポジウムでの意見交換は多岐に渡っていて興味深かった」「人が集う図書館という言葉が良かった」ほか多くの感想がありました。(広報委員 林)



2024年度のナイトシアター上映予定作品決定

ご好評をいただいている『ナイトシアター』の2024年度前半のラインナップが下記の通り決定しました。上映予定作品はすべて区内初上映のDVD映画です。詳しくは区内図書館に置いてあるチラシや「友の会ホームページ」でご確認下さい。なお、都合により変更になる場合があることをご了承下さい(定員はいずれも80名)。会場は葛飾区立中央図書館会議室1で、毎月第2土曜日の午後6時開始(入場は5時半から)です。

回	開催日	上映映画	内容
159	4月13日	マチネの終わりに	2019年 123分 原作:平野啓一郎 監督:西谷弘 出演:福山雅治・石田ゆり子・桜井ユキ・伊勢谷友介
160	5月11日	影裏(えいり)	2019年 134分 監督:大友啓史 出演:綾野剛・松田龍平・筒井真理子・中村倫也
161	6月8日	ジュディ 虹の彼方に (原題 JUDY)	2019年 イギリス製作 118分 監督:ルパート・ゲールド 出演:レネー・セルウィガー ジェシー・バックリー
162	7月13日	アイネクライネナハトムジーク	2019年 119分 監督:今泉力哉 出演:三浦春馬・多部未華子・貫地谷しほり・濱田マリ・森絵梨佳・原田泰造
163	8月10日	だれもが愛しいチャンピオン (原題 Campeones)	2018年 スペイン製作 118分 監督:ハビエル・フェセル 出演:ハビエル・グティエレス ファン・マルガージョ
164	9月14日	山下清物語 裸の大将放浪記	1981年 120分 原作:山下清 監督:山田典吾 出演:芦屋雁之助・中村玉緒・南沢一郎・芦屋小雁

葛飾図書館友の会 ナイトシアタークラブ

第2回 葛飾図書館友の会主催「図書館川柳」参加作品一挙掲載(募集期間 9月26日～10月29日)

今回も延べ37名の方から68句の川柳を区内の図書館からいただきました。ご参加ありがとうございました。

作	品	(原文のママ)	ペンネーム 年齢(カッコは応募館)
予約した	本の名忘れ	又予約 / ベストセラー 名作何度も 読み直し	サザエさんの買物袋 50～60代
「一時(いつとき)」で	図書館入る	避暑めぐり / 「学習室」 使う若者 我が支え	ドラゴンII 70代以上
メ切日	本を投げ入れ	秋の空 / 館内の 活字に囲まれ 静かな秋	よっちゃん 70代以上
龍馬いて	啄木もいる	隠れん坊 / 軽い鬱 病院よりは 図書館へ	林 みさき 70代以上
予約本	いつ手元にくるやら	知ってるかい / ベストセラー 予約したあなた 素人ね 一年先ですよ	東金町 70代以上
ダメ出しは	スタッフのスキル	アラワレル	
秋の空	今日も読書で	日がくれる / ベストセラー 買った方が早い 予約まち	ナシ
五、七、五・・・	川柳づくりも	ボケ防止 / 本の杜(もり) 知識の宝庫 タダがいい!	サワ子(♀猫 40代) 70代以上
手に取った	その一冊は	魔法の入口	まるん 70代以上
メニュー読む	集中力で	背表紙読む / やかまし村 見て9才の 吾に会う	50～60代
秋深し	となりの人も	読書かな / 図書館の 本に囲まれ 幸せネ!!	ハッピー 70代以上
調べたい	でも出てこない	作者名 / 静けさに つつまれ寝ちゃう 昼下がり	50～60代
秋雨に	金木犀と	本の匂い / 懐かしい 想いを辿って 図書館へ	10～20代
暇つぶし	金もかからぬ	良きところ / 閑さや 携帯鳴らぬ 静かさや	城影 健 70代以上
カスハラを	図書館内で	よく見かけ。 / 誰だトイレよごすのは 実は犯人オレだった	尾羽塚しい 70代以上
この本は	子供文庫の	古い友 / 老いてまだ 涙止まらぬ 本に会え	夢生 70代以上
図書館へ	日参楽し	ボケ防止	86才の爺です
聞く耳は	Z(財務省)の	声を 聞くことか	
料理本	スマホに代われ	すみっこぐらし / 図書館で 見かけた君は 知的也	黄色いチューリップ 50～60代
広ければ	気安く入れる	休憩室 / コピーとり ダイソー5円だ 借りる本	ドラゴンII 70代以上
今年こそ	コスモスのピンズ	本を繰る / 興味ひく 図書へ誘う 展示あり	眠気ざましは緑茶 50～60代
本を読む	そのひとときが	至福時 / 還暦で 学びの深さ 気づく日々	仲田 義明 50～60代
図しよかんは	時空をこえる	道しるべ / 予約して 忘れたところに 届く本	かつしか 白菜 70代以上
死ぬまでに	読みたい本が	山となる	70代以上
困り事	身近かな図書が	道しるべ / 今日もまた 知識もらって 出る図書館	雅美 50～60代 (亀有)
図書館に	託しています	ボケ予防 / 静けさを やぶる雑誌の 開閉音	四季磨呂 70代以上 (亀有)
休館日	長い一日	もて余まし / 図書館は 心のリズム 暮らしのオアシス	ターミン 70代以上 (亀有)
ミステリー	犯人忘れ	読み返し / 演技力 ちょっぴり いるよ 読み聞かせ	宮崎 50～60代 (立石)
図書館の	押し本	私も好きな本 / 毎夜ごと 母が語るは「桃太郎」	まみ 50～60代 (立石)
なんだっけ	図書館に行け	どこだっけ	認知近太郎 70代以上 (立石)
調べもの	してるつもりが	居眠りし / 新刊も 予約できる いい図書館	(お花茶屋)
お花茶屋	図書館には	主がいる / お花茶屋 自習室 おしゃべりがいる	ロイヤルマン 30～40代(お花茶屋)
また	来てしまった	第四木曜	葛飾の大阪人 50～60代(お花茶屋)
古今東西	生きる知恵が	わく 図書館で / 老若男女 CD・DVD は 脳の宝庫	鉄腕あtomu 70代以上(上小松)
二次会後	赤い顔して	本借りた / ビール飲み 読書はかどる 気のせい	ビール好きおっさん 60代
予約本	やっときたきた	10ヶ月 / 一気に読み 心満たされ 心地よく	鎌倉ライブラリー好き 50～60代(鎌倉)
詩をながす	コンベア君の	ショートヘア / こいびとと 異国こがれて 積む絵本	戸津 琢雅

上記作品は昨年11月に開催された「第13回葛飾図書館友の会ウィーク」期間中に中央図書館展示コーナーで発表しました。

恒例のお正月『新春かるた会』を開催 今年も各テーブルで熱戦 初めて男子が入賞



今年度も『新春かるた会』を、1月3日（水）午後2時から中央図書館会議室1で開催しました。地震や事故などがあった年初でしたが、幸い34名（大人14名、子ども20名）のご参加をいただき、熱戦が繰り広げられました。

鶴岡会長の挨拶、ルール説明の後、5グループに分かれ、まず、おはなしくらぶの岸本さんの読み上げによる「かつしか郷土かるた」を開始。皆楽しみながらも、真剣に札を取り合いました。続いて、百人一首の絵札を使う「坊主めぐり」。運が支配する競技で、裏返し

の札を順に取り、それが坊主だと手元の札をすべて失うので、ドキドキ感があります。各グループから歓声、ぼやき・溜息（？）が聞こえてきたりと、楽しく進みました。

次はいよいよ、百人一首の競技です。まず各グループでの予選、続いてグループ1位の5人による決勝戦を行いました。下の句の読み上げが開始される瞬間は、早く正しい札を取ろうと、張り詰めた空気がありました。結果、1位は小6の女子（29枚）、2位は小2の娘さん（5位）と一緒に参加されたお母様（28枚）、3位は小6の男子（18枚）でした。最後に表彰式を行い、決勝戦を戦った5名に、賞品として図書券や図書館バッグが鶴岡会長から贈られ、2時間にわたって楽しんでいただいた『新春かるた会』は無事に幕を閉じました。



友の会役員や会員の方々から準備・進行に多くのご協力をいただき、また図書館から賞品の図書館バッグや参加賞の提供をいただきました。深く感謝申し上げます。

（イベントクラブ 北野）

☆☆☆☆☆☆ 「葛飾図書館友の会」で一緒に活動しませんか！ ☆☆☆☆☆☆

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？ 友の会の開催イベント時でも直接の入会受付を行っていますので是非ご利用ください。年会費は一般会員 1,000 円、賛助会員は1口 2,000 円です。上記の方法が利用できない場合、入会希望者は中央図書館に入会届をご提出の上、年会費を右記の口座に納入してください。図書館での年会費の直接納入はできません。「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、2024 年度年会費とご記入下さい。また 1 口 500 円の寄付も大歓迎です。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

払込手数料は窓口では 203 円、ATM からでは 152 円です。恐れ入りますが、ご負担をお願いいたします。

入会届はHP (<https://katsutomo.jimdo.com/>) からダウンロードできます。

お問い合わせ先：中央図書館友の会担当者（打越さん、吉村さん、川井さん、嶋田さん、佐藤さん）Tel.03-3607-9201

最近、子ども達は学校で歌を歌うのだろうか。コロナ感染中はマスク着用で、声を出すことも控えていたと聞くが、今もまだ大声を出すことはできないのだろうか。▼歌うことは一つの表現方法であり、基本的欲求なのに、それを抑えられている子どもたちは、どこで発散しているのかと心配になってきた▼世界で人気の「カラオケ」ブームは日本から生じたものであり、一時は昼間からカラオケで気持ちよさそうに歌っている声が聞こえてきた。さすがにコロナ中は全く影を潜めていたし、今もほとんど聞こえない▼音楽を聴いている若者は多いが、自分で歌うことはあるのだろうか。子守歌も聞かれなくなつて久しいといわれるが、母親は子どもを黙って寝かせるのだろうか。昔から子どもを寝かせる時に、とんとんと身体をたたいたり揺らしたりしながら歌っていた習慣はなくなつてしまつたのだろうか▼少子化といわれて久しい今、歌の頃、赤ちゃんは相変わらず、歌を聞くのが大好きだし、いつも聞こえてくるママの声を聞いて、安心して眠りにつくことができれば、きっといい夢を見て夜も幸せに過ごせるし、十分眠つた後の目覚めは次の日一日を快適に過ごせるだろうと思うのだ▼世界ではあちこちで戦争の火花が上がり、一番弱い立場のものにまで戦禍が及んでいる話を聞く。地震などの自然災害も後を絶たないのが現状だが、どんな状況でも希望を失わないように大きな声で歌を歌える環境を維持したいと願う。

（広報委員 山浦敬子）

色えんぴつ